

## 予算議案を 問う

# 一般会計予算議案に対する討論【要旨】

3月22日の本会議で令和4年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各会派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを掲載しています。実際の討論は、自由民主党市議団、立憲・市民フォーラム、公明党、日本共産党国分寺市議団、無会派（国分寺・生活者ネットワーク）、無会派の順番で行われましたが、紙面の都合上このように掲載しています。



録画配信は  
こちらから  
(5月31日まで)

## 賛成

### 福祉関係費が50%に迫る大型予算を評価

#### ロシア軍、共産党軍に備えて防衛強化を

ロシア軍のウクライナ侵攻のため世界は危機的な混乱状況にある。平和だった街は一瞬で戦場になり、乳幼児からお年寄りまで多くの命が奪われている。この現実を隣国が起している戦争であって遠い国の話ではない。日本は対岸に共産主義の危険な国と常に対峙している。今こそ国の防衛をしっかりと考える時である。

#### 福祉関係費が総額の50%を占める大型予算

令和4年度一般会計予算は総額503億5700万円にのぼり、特に老人福祉費、心身障害者福祉費、児童福祉費、生活保護費など高齢者から乳児までの生活を支える民生費は250億6600万円に達し予算の約50%を占めている。昨年の世界人権デーにおいて制定した『すべての人を大切にするまち宣言』にふさわしい井澤市長の思いやりが感じられる素晴らしい予算となっており高く評価するものである。

#### 新型コロナワクチン最速の3回目接種

新型コロナワクチン3回目接種に当たっては国分寺市医師会の先生方のご協力をいただき昨年12月からスタートし、さらに接種間隔が2か

月間短縮され6か月になった際にもいち早く対応している。医師会の先生方に感謝申し上げる。

#### 地域包括ケアシステムの充実と肺炎予防

高齢者施策では新たに地域包括ケア担当課長が設置される。高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムの充実を図ると共に、地域の特性に応じた認知症施策の推進や、生活支援サービスの向上を期待している。また高齢者の肺炎を防止するため肺炎球菌ワクチン接種費用の助成が拡大され、回数の制限なしに5年ごとに追加接種が可能になった。

#### 同行援護者や障害者移動支援者の養成研修開始

障害者福祉では4か所の短期入所事業所、2か所の相談支援事業所が地域生活支援拠点として位置付けられた。また福祉に関わる専門の人材育成として、視覚障害や知的障害のある方の外出時の支援を行う、同行援護者や障害者移動支援者などのガイドヘルパー育成のための研修の強化が打ち出された。障害のある方の自立生活や社会参加の機会が多くなることを期待する。

#### 学童保育所の拡充と一部狭あい学童の是正を

学童保育所は七小小学区内に30人の拡充が図ら

自由民主党市議団  
(賛成7人)

森田たかし 尾作 義明  
丸山 哲平 尾澤しゅう  
小坂みちよ 新海 栄一  
吉田りゅうじ



新海 栄一

れる。また低学年児童の申込の後に定員の空きのある民設学童保育所7か所において、小学校4年生の受入れが試行的に行われることは一歩前進した。さらに三小、十小内に公設民営保育所が整備され72人の定員拡充が図られる。これにより全市の充足率はほぼ100%となる。現在問題になっている一部学童保育所の200%を超える狭あい状況は、コロナ禍で極めて危険性が高いので早急に是正していただきたい。

#### 西国南口武蔵野線ガード下の歩道拡幅を評価

西国分寺駅南口の武蔵野線ガード下から府中街道にかけての歩行者道は非常に狭く、以前より安全確保のため拡幅を求められていましたが、このたび土地確保が実現し拡幅が決まったことは喜ばしく市の努力に感謝したい。道路問題では市の南北を結ぶ都道国3・2・8号線と、東西を結ぶ都道国3・4・6号線が防災上も重要な道路となっている。東京都と協議を進め早急の開通を目指していただきたい。

## 賛成

### 市民の立場で市民とともに 市政運営を！

令和4年度一般会計予算総額は503億5705万円で、予算編成にあたっての基本的な考え方であるゼロベースからの真に必要な経費の計上に努めたことは大いに評価します。

市税収入9億円の見込みについても納税義務者や個人所得、新築家屋による増と理解しました。安定した税収確保にむけて市でも「賃金のあるべき水準額」を検討していただきたいです。

人口は令和4年1月1日現在で127,792人で人口ビジョンの推計より上回っていますので、適宜ビジョンの見直しが必要だと考えます。

15才から64才までの生産年齢人口は令和5年がピークでその後は減少する見込みなので楽観できない状況が続きます。

経常収支比率については93.4%でしたが今後悪化する推計なので目標である90%台前半を目指していただきたいです。

基金残高は現在の139.7億円から財政フレームでは新庁舎やリサイクルセンターの建設などにより令和9年には61億円まで減少する見込みです。目標である財政調整基金30億、公共施設整備基金20億円は堅持していただきたいと要望します。

個別事業につきましては以下のとおりです。

人件費について会計年度任用職員の報酬増は評価します。さらなる待遇改善に努めてください。商工費では消費者教育について成人年齢の18歳引き下げに伴う若年層対策をお願いします。

土木費では道路新設改良工事や都市計画道路工事の着実な進行を求めます。

西元町に新しくできるインクルーシブ公園については利用者の声を事前に十分聞いて設計していただきたいです。

消防費では防災会議の女性委員を増やしていただきたいです。

総務費ではいずみホールの指定管理料について増加の理由がわかりにくいので今後はわかりやすくするように工夫してください。

すべての人を大切にするまち宣言については具体的な取り組みをおこない絵に描いた餅にならないようにしていただきたいです。

民生費では健康福祉サービス協会と社会福祉協議会に対して市は必要に応じて指導、助言など対応すべきことを求めておきます。

ヤングケアラーについては市内の実態調査をし

立憲・市民フォーラム  
(賛成5人)

だて淳一郎 及川 妙子  
はせべ豊子 星いつろう  
皆川りうこ



及川 妙子

ていただきたいと考えます。保育所が増えているので質の確保が重要です。保育施設の指導監査はぜひ書面のみでなく実際現場に行き検査していただきたいです。

子ども家庭支援センター事業については相談員の環境整備に努めていただきたいです。

教育費については35人学級への対応として普通教室の増加が計画されていますが、設計が固まる前に地域や保護者の意見を聞いてください。

幼稚園についても入園者が減少しているののでしっかりフォローしてください。

いじめ・虐待防止条例で重大事態と認められた事案については早期の結論を求めます。

公民館事業については公民館運営審議会やサポート会議の皆さんとの信頼関係を崩すことがないように地区独立館体制、5館構想が継承されるように強く望みます。

くめぎ教室については今後のあり方を再確認しますが、市民にわかりやすい形でお願いします。

## 賛成

### すべての人を大切にする予算案を評価

後年度見通しを示す財政フレームについて、5年分を示したことは評価し継続して頂きたい。令和12年には人口減少が推定される中、ゼロベース積み上げ予算を継続しつつも一層厳しい査定を期待する。大規模災害等緊急時の財源としての基金は計画通り維持し、更なる積み増しも検討すべきだ。また決算剰余金の当初予算への反映は、実態と乖離しており見直しを求める。

予算委員長として厳格な答弁姿勢を求めた結果、例年よりしっかりした答弁がなされた。このような、実践を踏まえた人材育成研修を一層求める。昨年12月の「すべての人を大切にするまち宣言」に基づいた西元町へのインクルーシブ公園の設置や、危険であった西国分寺駅武蔵野線高架下歩道の改修、ヤングケアラー対策など、速やかな対応は大いに評価する。武蔵国分寺跡

無会派  
(賛成1人)

木村 徳



木村 徳

史跡指定100周年事業は単年度の一過性にならないよう求める。年度開始後、安易に議会の議決を要しない専決処分をせず原則、補正予算提案を求める。井澤市長三期目初の予算提案で、大変適切な予算であると評価し、賛成する。